

令和5年6月 22 日

石木ダム建設絶対反対同盟を支援する会
代表 遠藤 保男 様

長崎県土木部河川課長
松本 憲明

石木ダムに係る要請への回答について

令和5年6月6日付で要請のあったことにつきましては、知事に報告しており、以下のとおり回答します。

石木ダムは、川棚川の抜本的な治水対策、佐世保市の慢性的な水源不足解消のため必要不可欠であり、県民の安全・安心を守ることは行政の責務であることから、一日も早い完成を目指し、今後も工程に沿って工事を進めてまいります。

県としては、覚書の基本的な考え方については重要と認識しており、地元の方には事業への理解を得られるよう、事業の必要性について、これまでいろいろな機会をとらえてご説明し、努力は続けてきたと考えています。

全ての方に同じような理解を求めることは難しいかもしれませんが、約8割の方々のご理解をいただいております。そうした思いも受け止める必要があります。

事業の必要性については、司法判断も確定している中で議論する段階にないと考えており、貴団体を含めいずれの方とも議論に応じることはできませんが、川原地区にお住いの皆様のご理解とご協力をいただいたうえで事業を進めることが最善との考えに変わりはなく、今後も13世帯の皆様にご理解、ご協力をいただけるよう努力してまいります。

なお、要請書の「理由の説明」に記載された個々のご意見につきましても、前述のとおり、事業の必要性については、議論をする段階にないと考えており、回答は致しかねます。

以上